

「自立心・対話力・創造性」活力あるコミュニケーションで結ぶ学園広報誌

神女広報

vol.28
2019 Summer
CROSSROADS



特集

時代に呼応し進化する
女子教育を目指して
— 新体制で挑む —

6 教育研究活動

15 トピックス

16 地域連携

18 神戸女子大学附属高倉台幼稚園

19 インフォメーション

神戸市立須磨離宮公園
「マサコ」

学校法人行吉学園

神戸女子大学 神戸女子大学大学院 神戸女子短期大学
神戸女子大学教育センター 神戸女子大学附属高倉台幼稚園



特集

時代に呼応し進化する 女子教育を目指して ——新体制で挑む——

学長 泉原伸公

新学長に 聞く

神戸女子大学・神戸女子短期大学を運営する行吉学園は、平成31年4月から新たな理事長、学長が就任し、新元号令和とともに新たな歴史を歩み始めました。



建学の精神を踏まえて、学長として重点的に取り組みたいこと教えてください。

本学は伝統的に一人ひとりの学生を大切にきた教育を行ってきました。学生のことを大切にするのは、大学教職員としては当たり前のことですのでやって当然なのですが、では具体的にどうするのか、と考えるとこれがなかなか難しい、一言では言えないものであることがわかります。学生に親切にはしますが、単にそれだけではありません。学生のデマンド（単なる要求）ではなくニーズ（本当に必要とするもの）を叶えていくのですが、独善的になるわけにはいきません。勢い余って甘やかすとかえって学生のためにならない場合もある一方、甘やかさないという言葉が無作為の言い訳にするのはもっといけません。このように具体的にはとても難しいことなのですが、実は答えは学園にいる私たちのすぐ傍にあることに気づきます。行吉 哉女先生の薫陶を受けられた先生方を中心に、本学教職員の先輩方が日々示されている学生たちに対する態度・様子を見るとき、それがいつも真っ先に学生のことを思っていることがわかります。これこそが一人ひとりの学生を大切にすることであり、及ばずながら私はそれを毎日学ばせていただいています。こんなことは他大学ではそうそうあるものではないと思います。

そんなわけで、私が今一番したいことは、この伝統を若い先生方に継承していくこと。また、本学がそうした素晴らしい教育をしていることをできるだけ可視化し、世の中の人にもっともっと知ってもらうことです。結果的に、このことは高校生たちにとって偏差値等よりもずっと強い志望動機になるはずで

副学長であった2年間は、地域連携推進センターのセンター長との兼任でした。この経験から、今後の大学として地域貢献をどのように推進するお考えですか？

本学の教育目標には、教育・研究に加え、地域貢献を大学の機能として掲げていますし、大学の使命として地域貢献があるのは言うまでもありません。

しかし、本学園の中期目標にも掲げましたが、本学の地域貢献は単に地域の役に立つことを行うものではなく、教育機関である以上、地域貢献となる取り組みを行う中で、学生たちが学び、成長することが重要だと考えます。地域との関わりは、学生たちが学ぶためのまたとない機会です。センター長時代には、そんな貴重な機会を学生や教員に提供してくださる地域の方々に、ぜひ貢献して、恩返しをしたいと思っていました。今もその気持ちは変わっていません。



ふれあい給食で挨拶をする栗原伸公学長

神戸女子大学と神戸女子短期大学の一体的な運営についてお聞かせください。

18歳人口が減少する中、学園の運営を効率化しなければならなくなっています。教育・研究の質を落とさず、逆にできるだけ上げながら、組織を効率化していくことが必須です。そのために、大学・短大で二重で行っていることをできる限り一本化します。

その際、大学・短大で行っていることを各部門で相互に見直し、それぞれの良い点を取り入れていくようにしたいと思います。とくに、大学教員出身の私としては、昔から学園が大切にしているもので短期大学において今なお実践していることがらをぜひ学ばせていただき、それらを積極的に取り入れていきたいと考えています。



学長 栗原 伸公(くりはら のぶたか) Profile

学歴

平成2年3月 東京大学 医学部医学科 卒業
平成3年4月 東京大学大学院 医学系研究科社会医学専攻博士課程 中途退学
平成11年4月 博士(医学) [東京大学大学院 医学系研究科]

所属学会

日本衛生学会、日本産業衛生学会、日本病態栄養学会、日本栄養学教育学会
American Heart Association
International Society of Nephrology
International Epidemiological Association

職歴

平成3年4月 東京大学 医学部医学科 助手 (平成10年2月まで)
平成8年3月 Henry Ford Hospital, Hypertension and Vascular Research 研究員 (平成10年2月まで)
平成10年3月 埼玉医科大学 医学部 専任講師
平成16年4月 神戸女子大学 家政学部 助教授
平成17年4月 神戸女子大学 家政学部 教授
平成22年4月 神戸女子大学 家政学部長 (平成28年3月まで)
平成29年4月 神戸女子大学 副学長 (平成31年3月まで)
平成31年4月 神戸女子大学・神戸女子短期大学 学長就任



栗原学長の専門は「衛生学」ということで、「公衆衛生学」「食品衛生学」等の授業を担当されています。学長の研究室では主にどのような研究が進められているのですか？

私の専門である「衛生」という言葉は、明治の初めに作られた言葉ですが、その概念には今でいう予防医学を含みます。私は医者であり、病気の人を診察しますが、できれば病気で苦しむ人を見たくありません。その人たちが病気になる前に何とかしたい、なおかつできるだけ薬を使わずに、つまり栄養・運動など生活習慣を通じて、病気の予防、さらには病気になりにくい身体づくりをする方法を探りたい。そう思って30年前母校の衛生学講座の門をたたきました。そして日常臨床の現場で、栄養による疾病予防実践における管理栄養士の重要性に強く気づかされ、15年前本学の管理栄養士養成課程に参りました。

現在は、唐辛子、生姜、昆布、昆布だしなどを摂取すると、高血圧になるはずのモデル動物の血圧が上昇しないという私たちの観察結果をもとに、そのメカニズム解明と食生活への応用法の開発を行っています。また、エビデンスに基づいた食育方法を開発すべく、保育園・幼稚園児から高齢者まで幅広い層に対して、食習慣・嗜好、生活習慣、主観的健康観などに関する調査を行っています。いずれのテーマもこれまでのゼミ生、院生が管理栄養士(の卵)として持つ問題意識から私に教えてくれたテーマばかりです。そして、学生たちがそれぞれ各テーマに熱心に取り組んで、興味深いデータを日々数多く示し続けてくれています。



学生へのメッセージをお願いします。学生の時にしかできないこと、やっておくべきことは何ですか？

私が今、学生時代にやっておいた方がよかったと思うのは、英会話、書字の練習、礼儀作法・マナーの習得、料理、営業見習い、ボランティア活動などです。AI、ICT時代になって必要なくなるものもあるかもしれませんが、それらができる人、やっている人はやはりカッコイイと思います。

しかし、私が学生たちに今最もやってほしいことは、実はそういったことではなく、その学生自身が「やりたいこと」です。スポーツや音楽でもいいし、語学、料理などもよいですが、やりたいからするのであって、役に立つからするのではない、ということが重要です。大学教員として希望を言えば、知的好奇心を満たすものだとお良いのですが、あくまで自分で決めたものをしてください。ただ、全力で行って、極めようとするのが大切だと思います。

お金や時間などいろんな制約があると思いますが、最初からあきらめるのではなく、できる限り粘ってほしい。学生時代には目一杯やれるはずだし、今やらなければやれるときがもうないかもしれない。そして、一生懸命頑張った先には、必ず何か見えてくるはずですよ。

新学長はこんな人 ♡ 栗原学長にいろいろ質問してみました

<p>座右の銘は？</p> <p>ものには時機がある。</p>	<p>趣味は？</p> <p>昔は、「弱電」でした。今は研究が一番楽しいです。</p>	<p>愛読書は？</p> <p>“養生訓” というべきですね。</p>	<p>学園全体で一番好きな場所は？</p> <p>須磨キャンパス “C203” 私たちの実験室です。</p>
<p>尊敬する人は？</p> <p>ペッテンコーフェル 最近、チャドウィックに移りつつあります。</p>	<p>一日で一番好きな時間は？</p> <p>予定より早く目覚めた後、追加で少し眠れる時間。</p>	<p>大学の教員になってよかったことは？</p> <p>仕事として、研究ができること。 若い感性・発想力に、常に刺激されること。</p>	

新理事長に 聞く

学校法人行吉学園 理事長 行吉宜孝

本学園は来年度に学園創立80周年を迎えます。
神戸女子大学・神戸女子短期大学に創立当初から受け継がれてきたもの、
行吉 誠之前理事長から受け継がれてきたものは何でしょうか？

このたび、学校法人行吉学園の理事長に就任いたしました。微力ながら精一杯努めてまいりたいと思っております。

行吉学園の歴史は、昭和15年、戦争が拡大していく局面の中で、戦争遺族の手に職を付け自立を助けるべく洋裁学校を設置したことに始まります。

その後、高度な専門知識・技術に加えて、学問的研究に裏付けられた高い教養を備えた人材を養成するため、昭和25年に神戸女子短期大学、昭和41年に神戸女子大学を設置してきましたが、すべては「女性の自立を支える」ことが目的であり、その方針は現在まで一貫して引き継がれています。

これとあわせて、行吉 誠之前理事長は、本学の特長でもある「学生一人ひとりを大切にする」文化の醸成を進めてきました。学生個人を尊重し、丁寧な教育を行うことで、豊かな情操と高い知性を身につけた人材が育成されます。これを継続し、学生の能力を高め、学生の未来が少しでも豊かなものになるよう努めたいと思います。



行吉学園・神戸女子大学の歴史について講義する行吉宜孝理事長

学園の一体的な運営についてお聞かせください。

神戸女子大学と神戸女子短期大学は、もともと別のキャンパスに開設されたため、それぞれ独立した運営を行い、大学・短大間の交流も限られたものになっていました。しかし、平成18年に短大の置かれているポートアイランドキャンパスに大学の健康福祉学部が設置され、さらに平成27年に看護学部も開設されるようになると、一部の行事が大学・短大合同で行われるようになり、単位互換科目も開講されるようになりました。

令和元年度からは、女子総合学園としての魅力を高めるため、この流れを一層強化し、学生と教員の交流を活性化するとともに、教学組織や委員会の統合を進め、学園としての一体感を強めていきます。これらにより、学生はより多くの専門領域に触れることができるようになり、そこで学問追究の楽しさに目覚め、短大から大学への編入学、大学から大学院への進学といった選択がしやすくなります。

行吉学園は、今後も学生の多様な学習ニーズに対応すべく進化してまいります。引き続きご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

古典芸能研究センターからのお知らせ



公益財団法人 香雪美術館 企画展

「四世梅若実襲名記念 幽玄の世界への誘い^{いざな} 梅若六郎家所蔵の能面と能装束」協力

香雪美術館（神戸市東灘区御影郡家）で、平成31年2月26日（火）から令和元年5月6日（月）まで開催された企画展「四世梅若実襲名記念 幽玄の世界への誘い^{いざな} 梅若六郎家所蔵の能面と能装束」に、古典芸能研究センター所蔵資料13点を出品して協力しました。この展覧会は、観世流シテ方楽師梅若六郎玄祥氏の四世梅若実襲名を記念して企画されたものです。センター所蔵の梅若流謡本12冊（内2冊は江崎家旧蔵資料）と、初世梅若実の演能の様子を明治の人気浮世絵師 楊洲周延が描いた「青山仮皇居御能ノ図」（伊藤正義文庫）が、梅若六郎家に伝わる貴重な面や装束と共に展示され、唯一の文献資料コーナーとあって、見学者の興味を一層引いていました。



上左 香雪美術館正門
上右 文献資料コーナーから見た展示会場の様子
下 楊洲周延画「青山仮皇居御能ノ図」（伊藤正義文庫）

展示 「古典芸能と番組・番付 一宣伝・案内・見立」

平成31年3月11日（月）～4月25日（木）に、展示「古典芸能と番組・番付 一宣伝・案内・見立」を開催しました。この展示では、能・狂言・歌舞伎・人形浄瑠璃などの上演の際に、宣伝・案内のために作られた「番組」（能・狂言）や「番付」（歌舞伎・人形浄瑠璃）について、古典芸能研究センター所蔵資料を使ってわかりやすく紹介するとともに、そこから見えてくる興行や催しの特色についても解説しました。遊び心に富んだパロディとして人々に親しまれてきた見立番付も併せて展示し、好事家の興味を引いたようでした。なお、古典芸能研究センター所蔵の能番組はホームページ内「古典芸能研究センター蔵 能番組データベース」で公開しています。

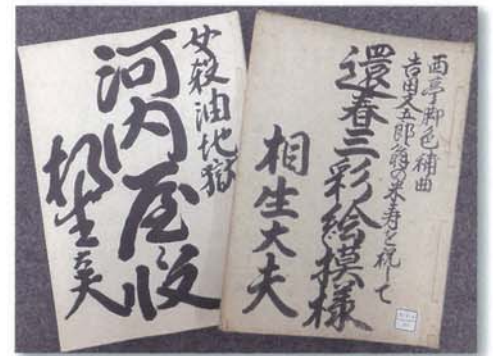
URL : <https://noh-bangumi.yg.kobe-wu.ac.jp/>



資料公開 「江崎家旧蔵資料」 「四世竹本相生太夫旧蔵資料」

古典芸能研究センターでは、所蔵する貴重なコレクションを、整理を終えたものから順次公開しています。この度、平成27年度に姫路在住のワキ方能楽師 江崎欽次朗氏より受贈した「江崎家旧蔵資料」（能楽関係資料）と、平成30年度にご遺族より受贈した「四世竹本相生太夫旧蔵資料」（浄瑠璃関係資料）をホームページ内「電子版和書目録」で公開しました。

URL : <https://wasyo.yg.kobe-wu.ac.jp/>



「四世竹本相生太夫旧蔵資料」より床本二種

令和元年秋
開催決定!

令和元年度国立能楽堂特別展 「神戸女子大学古典芸能研究センター・ 神戸女子大学図書館所蔵 能狂言絵コレクション」

- 会期** 令和元年11月6日（水）～令和2年1月17日（金）※月曜、年末・年始休室
- 会場** 国立能楽堂 一階資料展示室（東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1）
- 主催** 独立行政法人 日本芸術文化振興会

古典芸能研究センターと本学図書館所蔵の能狂言絵関係コレクションが、今秋、国立能楽堂でおよそ2ヶ月にわたって展示されることになりました。古典芸能研究センターが昨年度に刊行した『絵入謡本と能狂言絵』（神戸女子大学古典芸能研究センター研究資料集2）と、その刊行にあわせて開催した企画展「能・狂言絵の世界」が高評を博し、本学所蔵の貴重な能楽関係資料を東京で初公開します。詳細が決まりましたら古典芸能研究センターホームページにてお知らせします。



平成21年度に行吉学園創立70周年記念特別講演会「平家の魅力を神戸から」で記念講演をしていただいたドナルド・キーン先生が、平成31年2月24日にご逝去なさいました。謹んでお悔やみを申し上げます。

令和元年度 科学研究費助成事業採択状況

令和元年度の科学研究費助成事業について、本学園の採択件数は大学40件（継続27件、新規13件）、短期大学1件（継続1件）でした。
 科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まですべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的資金」であり、ピアレビューにより、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

令和元年6月1日現在

研究種目	研究代表者	研究課題名
基盤研究 (B)	家政学部・教授 砂本 文彦	日本統治期朝鮮の貸家と都市構造に関する研究
基盤研究 (C)	家政学部・准教授 木村 万里子	いんげん豆類に含まれる高機能性オリゴ糖の探索とその構造解析
基盤研究 (C)	看護学部・教授 下敷領 須美子	短期母乳栄養を選択したHTLV-1陽性妊産婦への訪問助産師による継続支援の開発
基盤研究 (C)	看護学部・教授 藤田 冬子	介護者のためのエンハンスメント・プログラム活用による在宅療養支援
基盤研究 (C)	文学部・准教授 久野 和子	「公共空間」としての図書館の先進的研究
基盤研究 (C)	家政学部・教授 置村 康彦	分岐鎖アミノ酸と成長ホルモンによる筋萎縮抑制作用の分子機構の解明
基盤研究 (C)	看護学部・准教授 丸山 有希	小中学校におけるけいれん発作対応に関する教育プログラム開発と効果の検証
基盤研究 (C)	文学部・教授 今井 修平	西播磨小藩・旗本領における領主支配と地域社会構造の歴史的研究
基盤研究 (C)	文学部・教授 大西 雅裕	母子家庭に関する貧困問題対策の実証的研究 -母子家庭支援策の構築を目指して-
基盤研究 (C)	看護学部・教授 中岡 亜希子	看護チーム力を向上させる看護師・看護補助者の協働モデルの考案
基盤研究 (C)	看護学部・准教授 藤原 由子	アトピー性皮膚炎患者が治癒するときの「身体性の変化」を支える方法の開発
基盤研究 (C)	看護学部・教授 内 正子	慢性疾患をもつ小児のためのクリニックにおける地域生活型看護ケアプログラムの開発
基盤研究 (C)	看護学部・准教授 笹谷 真由美	特別養護老人ホームにおける看護実践能力尺度の開発と検証
基盤研究 (C)	看護学部・講師 記村 聡子	看護師を対象とした地域連携研修デザインのためのアクションリサーチ
基盤研究 (C)	幼児教育学科・准教授 永井 久美子	保育職におけるバーンアウトの影響要因についての探索研究
基盤研究 (C)	文学部・教授 狩野 恭	アビダルマ以後における仏教的存在論と恒常的存在の存在論との論争の系統的研究
基盤研究 (C)	文学部・教授 森 尚也	サミュエル・ベケットにおけるモノダの運動：身体運動からイメージ運動、〈流動〉へ
基盤研究 (C)	文学部・准教授 岡嶋 裕剛	近代日本における漢字集合の字種・字体の変遷
基盤研究 (C)	文学部・准教授 鈴木 宏節	拓本精査と画像アーカイブ化による突厥碑文の歴史学的研究
基盤研究 (C)	家政学部・教授 後藤 昌弘	低温スチーミングによる野菜類の加熱調理条件と食味および栄養成分の関連について
基盤研究 (C)	家政学部・教授 梶木 典子	移動型遊び場（モバイル・プレイ）による子どもの外遊びの推進と都市公園の利活用
基盤研究 (C)	看護学部・教授 洪 愛子	専門看護師と認定看護師が提供する看護サービスのアウトカム評価指標開発
基盤研究 (C)	看護学部・准教授 田村 康子	モロッコにおける産痛緩和ケアに関する助産師基礎教育モデルの開発
基盤研究 (C)	文学部・准教授 南 佑亮	属性叙述のthere/have交替に関する記述的・理論的研究
基盤研究 (C)	健康福祉学部・教授 小笠原 慶彰	被占領期における方面委員・民生委員活動の実態についての研究
基盤研究 (C)	家政学部・教授 安藤 清一	野菜・果実類に存在する新規水溶性カロテノイドタンパク質複合体の探索と機能性解析
基盤研究 (C)	文学部・教授 小原 依子	リハビリテーション病院等における音楽療法の評価表マニュアル作成に関する実践的研究
基盤研究 (C)	健康福祉学部・教授 木村 大輔	マラリアにおける免疫記憶抑制 -IL-27依存的細胞死のメカニズム解明-
基盤研究 (C)	看護学部・助教 三苫 美和	がん相談支援センターへの相談内容の特徴抽出と構造化および経年推移の分析
基盤研究 (C)	看護学部・教授 東 ますみ	看護外来における行動変容が継続しない2型糖尿病患者に対する遠隔看護の有効性の検証
基盤研究 (C)	看護学部・教授 魚里 明子	地域で生活する健康な高齢者の足トラブルを改善するフットケアプログラムの開発
基盤研究 (C)	看護学部・教授 横内 光子	システムシミュレーションによる災害時病院患者避難原則の解明
若手研究 (B)	文学部・准教授 本田 隆裕	空範嚙・空演算子に対する英語前置詞と日本語格助詞の平行性
若手研究 (B)	健康福祉学部・准教授 川端(木下) 麗子	高齢外国籍住民の集住地域における「多文化共生型相互支援モデル」の構築
若手研究 (B)	看護学部・助教 奥井 早月	2型糖尿病患者への治療中断防止の支援モデルの開発
若手研究 (B)	看護学部・助教 荒金 英里子	中年期におけるひきこもり当事者の健康支援のあり方に関する研究
若手研究	看護学部・講師 西原 詩子	2型糖尿病患者に対する歯周病ケアプログラムの効果評価
若手研究	健康福祉学部・准教授 曾田 里美	児童養護施設におけるライフストーリーワーク実践モデルの開発的研究
若手研究	看護学部・助教 藤井 誠	がんサバイバーのライフコースに関する検討
若手研究	看護学部・助教 問本 弘美	DVのある家庭で生活する母子への妊娠中から産後の切れ目ない支援プログラムの開発
若手研究	看護学部・講師 牛越 幸子	妊娠後期の就労妊婦に対する睡眠の質を促進する看護介入プログラムの検証

※研究種目のゴシック文字は今年度新規採択(13件)

科学研究費助成事業に採択された研究紹介

中高年知的障害者と 高齢の親の同居家族への相談支援 障害分野と高齢分野の有機的連携

研究期間：平成 28 ～ 30 年度

研究種目：基盤研究（C）

神戸女子大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 植戸 貴子



今日の超高齢社会においては知的障害者も高齢化が進み、中年期・高齢期を迎えた知的障害者の生活ニーズや支援が注目されています。知的障害者は成人後も親と同居を続ける人が多く、親と子の高齢化によって、親によるケアを巡る課題も生じています。高齢の親が障害のある子をケアする「老障介護」、高齢の親を障害のある子がケアする「障老介護」、家族の経済的困窮や孤立など、厳しい現状が報告されています。このような中、障害分野と高齢分野の専門職が協力・連携しながら、「親子を一体的に支援する」という視点が重要です。

本研究では、中高年知的障害者と高齢の親の同居家族に対して、障害分野と高齢分野で行われている相談支援（ソーシャルワーク）の現状と課題、特に両分野の連携の現状と課題を探りました。

平成28年度には障害者相談支援事業所の相談援助職を対象に、平成29年度には地域包括支援センター（高齢分野の相談機関）の相談援助職を対象に聞き取り調査を行い、平成30年度には聞き取り調査の結果を検証するために、障害者相談支援事業所と地域包括支援センターの相談援助職に対するアンケート調査を実施しました。

その結果、知的障害者本人は、加齢による衰え、親のケ

ア力低下によって生じる生活問題、ケアを受ける立場から親をケアする立場への転換を巡る問題などに直面していることが分かりました。高齢の親は、自身の健康問題や機能低下、子へのケアの行き詰まりや孤立を経験し、将来への不安を抱きつつも支援の受け入れに戸惑いを感じていました。また、障害者相談支援事業所では重度な知的障害者との関わりが多く、親子ともに障害や加齢に伴う機能低下などの問題が深刻であり、地域包括支援センターでは、自立度の高い知的障害者が多く、障害者手帳がなく福祉に繋がっていない人が多いことが浮き彫りになりました。さらに、障害分野では時間をかけてじっくり支援するという援助観を持っているのに対して、高齢分野では問題を迅速に解決しようという傾向が見られました。障害者や高齢者を理解するために必要な専門知識の違い、障害福祉と高齢福祉の法制度の壁なども、障害分野と高齢分野が協働する際の課題として指摘されていました。

今後は、障害分野と高齢分野の相談援助職が互いに学び合い、法制度の枠を超えて適切に役割分担・連携しながら、親子を一体的に支援する実践と仕組みづくりのための研究に取り組む予定です。



卒業論文指導でゼミ生と福祉に関する問題について話し合う植戸貴子教授



「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の講義をする植戸貴子教授

大学院 看護学研究科 看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)開設

神戸女子大学は、平成31年4月から大学院看護学研究科看護学専攻を開設し、博士前期課程、博士後期課程を同時に設置しました。

看護学部看護学科を基礎とし、地域で活躍できる実践に裏打ちされた教育・研究者や高度専門職業人を育成することで社会に貢献することを目的としています。



看護学研究科の第一期生と東ますみ看護学研究科長(前列中央)

教育研究上の理念と目的

● **博士前期課程** 生命の尊厳への深い理解と実践科学としての看護の本質を探究する姿勢を育み、卓越した看護実践能力と研究能力の基盤を備えた看護職または、高度専門職業人として社会に貢献できる人材を育成する。

学 位：修士(看護学)
入学定員：8名
収容定員：16名

● **博士後期課程** 高い倫理観と高度な教育・研究能力を備え、研究活動を通して看護学の発展に寄与する看護系教育機関の教員・研究者または、保健医療福祉施設における実践者や管理者として、社会に貢献できる人材を育成する。

学 位：博士(看護学)
入学定員：3名
収容定員：9名

学位取得者 及び 学位論文《概要》

平成30年度 学位取得者 及び 学位論文概要

平成30年度は、神戸女子大学大学院文学研究科 英文学専攻に以下の1名から学位論文が提出され、平成31年3月16日に博士(英文学)の学位が授与されました。



論文博士 **湯谷 和女** (主査：丸橋 良雄教授)

論文題目 「ジェイン・オースティン—風刺作家としてのモラリスト」

論文は、王政復古期の喜劇の‘Comedy of manners’の手法を取り入れて小説を書いたJane Austenを「風刺作家としてのmoralist」と捉え、‘a master of her craft’ と称賛されるAustenの技法が完成されていった過程を研究した。

論文の目的は、代表作のみならず代表作を生み出すに至った未完小説や断片をもすべて検証し、その上でAustenの小説の確立と変遷と発展を一直線上に捉えて提示し、Austenの技法が完成された過程を追究することであった。

論文は全二十章からなり、第一章から第十章までは作品毎にテーマを定めて考察し、第十一章から第十六章までは全作品を鳥瞰しつつ、さらにテーマを拡大して作品と対峙し、第十七章から第二十章は英国に赴きAustenの足跡を辿って得た資料と着想を基にAusten文学の成立の過程を追った。

論文のタイトルを「ジェイン・オースティン—風刺作家としてのモラリスト」としたのは下記のような理由からである。王政復古期の喜劇の‘Comedy of manners’をHenry Fieldingが小説という文学形式に当てはめて‘Novel of manners’を確立しAustenがこれを継承したが、批評家のWalter AllenがFieldingとAustenを二人まとめて‘the moralist as satirist’と呼び、さらにAustenを“*She was the last and finest flower of that century at its quintessential.*”と絶賛したことに端を発し、何故AllenがそこまでAustenを高く評価したのか、その根拠を探り解明することが論文作成の目的であったからである。

その結果、Austenは風刺的な視点で小説を書く喜劇作家であると同時にモラリストであること、この場合、モラリストとは仏語に由来する人間性の探求者のことであるが、その小説技術は世界的に随一であることが判明した。

華南師範大学(中国)の日本学研究フォーラムで神戸女子大学教員が学術講演を行う

2019年3月29日(金) 華南師範大学外国言語文化学院主催、中央大学政策文化総合研究所共催で「日本学研究フォーラム」が開催され、神戸女子大学から文学部日本語日本文学科の永淵 朋枝教授と岡墻 裕剛准教授が学術講演を行いました。

この研究フォーラムには、中国各地の大学の著名な日本研究者が参加しました。

永淵教授は、メディアの勢力によって方向づけられていった日本近代文学の一面について講演し、岡墻准教授は漢字廃止論や日常で使う漢字の数はどの程度が妥当かといった、明治時代のさまざまな基本漢字文献について講演しました。

華南師範大学は中国でも有数の教育系の大学で、本学とは2000年に国際交流協定を締結し、同大学からの留学生を受け入れるとともに、本学の学生も留学するなど、多年にわたって交流を重ねて来ました。二人の教員は、中国訪問中に本学への留学経験がある華南師範大学の卒業生たちの同窓会に招かれ、旧交を温めました。



学術講演中の永淵朋枝教授と岡墻裕剛准教授



講演題目

永淵 朋枝教授

「日本近代文学におけるメディアの勢力—女性無名作家の軌跡から—」

岡墻 裕剛准教授

「近代日本における基本漢字文献の成立と発展」

参加大学一覧

日本	中央大学	神戸女子大学
中国	中山大学	広東外語外貿大学
	吉林大学	華中師範大学
	廈門大学	華南師範大学

カリフォルニア州立ポリテクニク大学附属英語学校の所長が来学



デボラ・ディツェル氏の授業の様子

2019年4月10日(水) 国際交流協定を締結しているカリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校附属英語学校・Cal Poly English Language Institute (以下CPELI) の所長デボラ・ディツェル氏が、神戸女子大学須磨キャンパスに来学。栗原 伸公学長を表敬訪問後、文学部国際教養学科の「国際関係論」の授業や3年生ゼミ「グローバル・ローカル専門演習Ⅰ」の受講生約30名を対象に、CPELIの説明と人間が生まれてから言語を習得する過程と脳との関係について興味深い講義を行いました。

学生たちは、海外研修が行われるCPELIの様子もわかり、人間が生まれてから言語を習得していく過程を知ることによって外国語の習得方法のヒントを得られ今後の英語学習の励みになりました。

留学生歓迎会 第一期 静宜大学(台湾)の交換留学生も迎えて

2019年4月神戸女子大学は文学部国際教養学科に静宜大学(台湾)から初めてとなる2名の交換留学生を含め4名の交換留学生と1名の短期研修生を迎えました。

華南師範大学からは2000年から毎年2名の交換留学生を受け入れ、2015年からはセント大学(イギリス)の学生の短期受け入れプログラムを開始し、今年度も1名の研修生が来日しました。

4月11日(木)に須磨キャンパス図書館のライブラリー・コモンズで教職員と学生に加え前年9月から留学をしているウダヤナ大学(インドネシア)の留学生も参加し歓迎会が行われました。



留学生歓迎会終了後の記念撮影

神戸女子大学と神戸女子短期大学 コラボで地域貢献 「いつまでもおいしく食べよう－介護食の作り方－」講座開催

平成31年2月23日（土）神戸女子大学健康福祉学部 社会福祉学科と神戸女子短期大学 食物栄養学科の共催によりいつまでもおいしく食べるための工夫を学ぶ講座をポートアイランドキャンパスで開催しました。

この講座は、加齢や病気などで「噛む」「飲み込む」などの咀嚼・嚥下機能の衰えた人がいつまでもおいしく食事ができ、食事中に思わぬ事故にあわないようにするために日頃からの対応や介護方法を学びたいという市民の皆さんを対象にした公開講座です。当日は13名の参加がありました。

最初に社会福祉学科の木村 あい准教授が加齢に伴う咀嚼・嚥下機能の低下・障害について解説し、食事の姿勢と食事介護の基本的な技術について講義しました。



木村あい准教授の講義の様子

続いて食物栄養学科の竹内 美貴助教が、誤嚥を防ぐために嚥下しやすい食材や調理方法について解説し、普通食を食べやすくアレンジした介護食の実演を行いました。

最後に短期大学の学生が作った介護食に加え市販の介護食の試食の時間があり、受講者の皆さんは、普段の食事と見た目も味も変わらない食事を味わいました。

毎日作ることは無理でも特別な日やお祝いの日には、介護食を作って家族と同じものを食べてだんらんを楽しみたいと熱心にメモを取る受講者の姿が見られました。介護についての悩み

を教員に相談してアドバイスを受けることもでき、この講座を継続して続けてほしいという要望が寄せられました。

大学の社会福祉学科と短期大学の食物栄養学科の教員と学生がそれぞれの専門性を生かして協力することで幅広い地域貢献活動が可能となり、知識や技術を学びあう機会にもなりました。



竹内美貴助教の講義の様子



介護食の実演をする竹内美貴助教



木村あい准教授（前列左）と竹内美貴助教、講座を支えた食物栄養学科の学生（緑色のエプロン）と受付や案内を担当した社会福祉学科の学生



介護食を調理する食物栄養学科の学生



料理の温めや試食の配膳には、社会福祉学科の学生も協力



試食用の介護食

（食物栄養学科の学生調理メニュー）

- ・フィッシュムニエル
- ・粉ふきいも
- ・インゲンソテー
- ・コンソメジュリエーヌ

・介護食用のやわらかいリンゴ（市販品）
・リンゴのコンポート

※この公開講座はポアイ4大学による連携事業「ポアイ健康推進プロジェクト」の一環として実施

神戸女子短期大学 ウエディングドレスショー

平成31年1月15日(火)にポートアイランドキャンパスにおいて、神戸女子短期大学 総合生活学科の古田 貴美子講師が担当する被服製作ゼミの学生7名による「ウエディングドレスショー」を開催しました。

被服製作ゼミでは一年かけて学生それぞれがデザインを考案、生地選びから縫製まで行い、ウエディングドレスを作り上げます。その集大成としてウエディングドレスショーを行っています。

ショーでは6名の男性教員が学生をエスコートしました。学生たちは、一人ひとりの思いの詰まった優雅なドレスを身に纏って登場し集まった多くの学生や教職員に披露しました。見学に来ていた学生たちからは「とてもきれい」「かわいい」という声があちらこちらからあがっていました。これらのドレスは制作展「ブルーム展」にて展示されました。

古田貴美子講師(右)と佃井紀子助手(左)とウエディングドレスショーを行ったゼミ生



神戸女子短期大学 造形表現活動の楽しさを作品に 第21回ブルーム展

平成31年1月26日(土)から31日(木)まで、神戸市中央区の神戸トアギャラリーにて「第21回ブルーム展」を開催しました。

この作品展は、神戸女子短期大学の全学科(総合生活学科・食物栄養学科・幼児教育学科)の学生が、授業で制作したさまざまな作品を展示する制作展です。学生にとっても、普段は見る機会が少ない他学科の作品を一斉に鑑賞することができるので、いろいろな発見があり、お互いに感性が刺激されあうなど好評の展示会です。第21回は約200点の作品を展示しました。

幼児教育学科では子どもの造形表現活動の支援に必要な実践力を身につけるために、学生自身が描くこと、作ること、鑑賞することを通して、造形表現活動の楽しさを感じながら制作に取り組みました。みずみずしい感性と学びの成果が発揮され個性的な作品が生まれました。来場された皆さんからの作品へのお褒めの言葉や感想は、学生にとって大きな励みになっています。



「自分を見つめて表現する」等身大に型どりの自分自身を独自の手法で表現



マナーの啓発ポスターと絵本



自分が住みたい家を設計



幼児教育学科1年生がキャンパス内で気に入った場所をこすり出し、絵の具のはじき絵に仕上げた作品を立体的に展示

管理栄養士養成課程の学生が親子で楽しく調理できるレシピ集を作成協力

平成30年6月から10ヶ月間にわたり神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程の安田 敬子准教授の4年生のゼミ生8名は「神戸食サポート協議会」が主催する「農・食体験ツアー」に協力。野菜の定植、圃場（ほじょう）の手入れ、親子で参加する料理教室の献立を作成し調理のサポートをしました。この料理教室の献立は「楽農レストラン育みの里 かねでかねで」で提供され、好評であったことから、同協議会は兵庫県産の野菜を使ったレシピ集を作成することになり、引き続き安田ゼミに協力の依頼がありました。4年生のゼミ生全員が取り組み卒業する直前に「ひょうご・神戸の食のご縁 親子で楽しくアレンジ 管理栄養士の食育レシピ」が完成しました。

レシピ集は親子で調理ができるように手順が簡単で、兵庫県で採れる野菜を使った48品を掲載。学生一人ひとりが8種類のレシピを考え、64種の中から選んだお薦めのレシピです。

天然のだし（昆布・鰹節）を使い、減塩で薄味の「春菊の胡麻和え」、捨てられがちな栄養たっぷりの大根の葉を使った「大根の葉チャーハン」など、野菜が豊富に摂取でき生活習慣病予防にもつながる動物性脂肪を抑えたレシピもたくさん掲載されています。レシピ集に掲載された料理は全部、自分たちが調理したものです。

ゼミ生たちは協力して、レシピ集の「ひょうご・神戸の旬野菜」のコーナーの野菜の選び方、保存方法、栄養についての知識のまとめ、美味しく健康に食べる1ポイントのコラム及び「栄養バランスについて」のページを執筆しました。



「ひょうご・神戸の食のご縁 親子で楽しくアレンジ 管理栄養士の食育レシピ」

*このレシピ集は平成31年4月25日までに希望者にNPO法人ひと・コネクト兵庫から無料で配付されました



幼児は成長する過程で食材の味を覚えていきます。このレシピ集が親子で楽しくクッキングをすることに役立ち、野菜をおいしいと感じ、減塩、薄味の料理を習慣づけていただく一助になることをゼミ生たちは願っています。

学位記授与式の日、安田敬子准教授（左）からレシピ集を手渡されよるこびのゼミ生たち



掲載写真の料理はゼミ生が調理し食器も準備



平成30年10月に実施された料理教室の様子

第2回「とっとり就職カフェ」開催

平成31年2月1日（金）第2回「とっとり就職カフェ」を神戸女子大学、鳥取県、公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構との共催で須磨キャンパスのベーカリーカフェ・マーベルで開催しました。これは、鳥取県との就職協定^(注)に基づき、学内で就職相談会、企業説明会を行うものです。本学からは鳥取県とお隣の島根県出身の1年生から4年生まで合計11名の学生が参加しました。

鳥取県の企業・団体、鳥取県庁、鳥取県教育委員会などの担当者から就職情報、インターンシップ情報が提供され、鳥取県の企業に就職が内定した4年生の学生2名が就職活動の体験談を後輩に語りました。

コーヒー・紅茶、焼きたてのパンやサンドイッチを片手にリラックスした雰囲気、直接各担当者に質問や相談ができると好評で、就職が内定した4年生の学生もこの相談会に参加したことが故郷で就職する要因の一つになりました。また、神戸女子短期大学を卒業して鳥取県に帰り社会福祉法人で活躍している卒業生も来学。仕事や出身地に帰って働くメリットについて学生たちは気軽に尋ねることができました。学生により多くの就職情報を提供する取り組みの一つとして就職カフェは今後も開催します。参加学生のアンケートには、「鳥取県で就職するか迷っていたが、帰って就職したいと思う気持ちが強くなった」「内定を得た先輩や鳥取で働いている人の話を聞いて良かった」という声が寄せられました。

(注)平成29年1月に神戸女子短期大学も神戸女子大学と同時に鳥取県と就職支援協定を締結



とっとり就職カフェの様子

学生消防団員に活動認証状が授与



「神戸市学生消防団活動認証状」を授与される高見あすかさん



「神戸市学生消防団活動認証状」を手にする高見あすかさん

平成31年3月18日（月）神戸女子大学の須磨キャンパスにおいて、「神戸市学生消防団活動認証状」の交付式が執り行われました。

この制度は、神戸市が大学等に在籍しながら、真摯かつ継続的に消防団活動に取り組み、地域社会に貢献した大学生等にその功績を認証し、就職活動に役立つようにと平成28年から活動認証状の交付を始めたものです。須磨キャンパスに通学する学生で、神戸市須磨消防団に所属する学生消防団員は、平成31年3月現在で3名在籍していましたが、3年生（当時）の高見あすかさんに活動認証状が交付されました。

交付式では、鷲尾 庄司須磨消防団長から活動認証状が手渡され、続いて水島 隆須磨消防署長（当時）から激励の言葉をいただきました。

高見さんは「神戸市は防災の取り組みが進んでいるので学ぶことが多く、卒業後は消防団員として身につけた知識や経験を色々なところでも生かして人々の役にた

たい」と活動の実績が認められたことを喜び、卒業するまでの間も後輩の消防団員とともに活動し地域の防災に貢献する決意を新たにしていました。



令和元年5月 第49回神戸まつり「須磨音楽の森」：防火服着用記念撮影コーナーで後輩の学生消防団員とともに活動する高見あすかさん（左から2人目）

神戸市交通局と連携し新入生を対象にした市バスのPRチラシを作成

卒論研究で「キャンパスへの通学路に利用する市バスの実態調査」 快適なバス利用方法と学生の定期券利用拡大の方策を提案

神戸女子大学須磨キャンパスでは、最寄駅（JR須磨と山陽電鉄須磨）から多くの学生が市バスを利用しています。大学も交通事故・防犯のために、市バスの利用を推奨しています。一方、登下校時のバスは学生で満員となり市民の皆さんには迷惑と感じられる状態にもなっています。大学では、下校時に学内からJR須磨駅前までの直通バスの運行を神戸市交通局に要請するなどの対応を行い混雑はいくぶん改善されましたが、依然としてバスの増便等が望まれています。

そのような中、神戸女子大学家政学部 家政学科の梶木 典子教授（専門：地域居住学）の研究室に平成30年5月、神戸市交通局から市バス乗客増のために大学生をターゲットとした定期券の利用拡大について方策を講じたいと連携の申し入れがありました。これを受け通学時間帯の混雑解消と市バスの利用促進に関する調査・研究を同研究室では開始。4年生（当時）2名が卒論研究のテーマに採り上げ、他のゼミ生や学生課の協力も得て須磨キャンパスに通う学生の約40%にあたる1,000人前後の学生に前期・後期の2回に分けてアンケート調査を行い、市バスの利用実態が明らかになりました。得られたデータに基づき混雑時のバスの不足本数を割り出し、さらに、学生と市民の皆さんが快適な乗車ができるような改善策を神戸市交通局に提案しました。

また、市バスの各種サービスの認知度、定期券購入状況も調査し、これらの利用促進の方策も提案するとともに、新入生に配付する定期券の利用促進PRチラシの作成も行い新年度に配付しました。

このPRチラシは神戸市内の市バス沿線の他の大学にも配付し、市バス乗客増への具体策の第一歩となります。梶木研究室では、神戸市交通局と連携して市バスの情報発信や乗客増への取り組み、一般市民と学生の快適なバスの乗車について研究を進めていきます。



市バスのPRチラシ

卒論題目

廣岡 未来さん 神戸市バスを利用した通学における混雑とトラブルの実態
～神戸女子大学須磨キャンパスにおける市バス利用に関する調査結果より～

西海 彩香さん 大学生を対象とした神戸市バスの利用促進のあり方
～神戸女子大学須磨キャンパスにおける市バス利用に関する調査結果より～



質問に答える廣岡未来さん(右)と西海彩香さん



卒論発表中の西海彩香さん



学位記授与式の日に完成したPRチラシを手にする
廣岡未来さんと西海彩香さん

須磨の魅力発見

こんなこともできる！パンフレット作成第2弾

神戸女子大学家政学部 家政学科の平成30年度後期の授業「都市デザイン演習」(担当：梶木 典子教授) の受講生37名が自分たちの学ぶ「須磨」をより愛される街にしていくため、創造的な仕事をしているクリエイターの皆さんの関心を集めることを目的にパンフレット「Sumaura Project」を作成しました。パンフレット作成は平成29年度に続き2回目です。

JR須磨駅に隣接する須磨海岸や須磨浦商店街は「温かみ」「落ち着き」「癒やし」を感じさせます。学生たちはより多くの人に須磨の良さを届けたい、知ってもらいたいという思いで、一人ひとりが「須磨にしかないもの」は何か考えました。地元の企業、個人事業主の皆さんにも須磨の魅力を再確認してもらい多くの人々が参画し、協力し合えるプロジェクトの可能性をクリエイターの皆さんにアピールすることを考えました。授業には地元の建築家やまちづくりコンサルタントの方々などがゲストスピーカーとして加わり、学生の学びを刺激し、深めてくださいました。

授業では8班に分かれて班ごとに、ひとりでも友人と一緒に楽しめて、アウトドア派、インドア派を問わず満足できることはないか、可能性と魅力を探しました。各自の案を集約してプロジェクト案を練り上げ、最後は全員が参加して班ごとにプレゼンテーションと相互評価を行い伝え方や見せ方のブラッシュアップを行い完成度の高いものに。須磨海岸に流れ着く流木や貝殻で作るインテリア雑貨づくり、多彩なパフォーマンスを繰り広げられる浜辺ステージ、手づくり家具を置き週ごとにジャンルが変わる本を本屋さんから運んできて読書を通して交流できる浜辺エリア、特産の海苔を食べる・つくる・アートする「須磨海苔」体験など8つのプロジェクト案のリーフレットが出来上がりました。8枚を一つのクリアホルダーにまとめて「Sumaura Project」の完成です。お披露目発表会には、須磨浦地域の皆さんにも出席していただき、励みになるコメントを多数いただきました。

このパンフレットは、学生たちのプロジェクト案が須磨の活性化のヒントになることを期待して須磨区役所等に進呈しました。

Sumaura Project

- | | |
|----|--|
| 1班 | 須磨くていぶ suma ×active
クリエイター募集集中! 須磨で店を開きませんか? |
| 2班 | SUMAURART
みんなと一緒に人の輪を広げてみませんか 絵を描きませんか |
| 3班 | 思いきり歌いたい! 踊りたい! 楽器を弾きたい! そんなあなたへ |
| 4班 | 須磨浦銭湯街
須磨にある癒しとくつろぎの空間 |
| 5班 | 夜の街
クリエイターさんと街づくり 新しい須磨へ |
| 6班 | 須磨海苔
パリッと須磨の香り感じませんか |
| 7班 | 走る本
本から広がる世界がきっとある |
| 8班 | Suma See Sea Share
須磨の海には心おどるものがたくさん しあわせをシェアしませんか? |



完成したパンフレットを手に梶木典子教授(左から4人目)と西本由起子助手(右から4人目)に笑顔で感想を述べる学生たち



8つのアイデアあふれるパンフレットが一つのクリアホルダーに入っている



神戸女子大学附属高倉台幼稚園



神戸女子大学附属高倉台幼稚園は昭和48年（1973年）4月に創立された神戸女子大学の附属幼稚園です。「やさしい心もち、主体的に行動する子ども」を育てることを教育目標に掲げ、自主・自立・協同・感謝の精神を養い、豊かな情操の素地を培い、思考力・想像力の芽生えを助け、人間形成の基礎を築くことを目的としています。

附属幼稚園として、文学部教育学科、家政学部管理栄養士養成課程、看護学部看護学科、神戸女子短期大学の学生の実習や大学の教員の幼児教育研究に協力しています。また、地域の皆様や保護者の子育ての教育相談も行い、子育ての支援の拠点としての役割も果たしています。

「にこにこクラブ」修了式

平成31年3月11日（月）に幼稚園に入園前、未就園児のお子さんを保育し、子育てを支援する「にこにこクラブ」の修了式を執り行いました。

平成30年度は、1歳児9名、2歳児39名、3歳児5名の計53名の幼児が修了の日を迎えました。

半年間は保護者の方と一緒に来ていた子どもたちも10月以降はひとりで通園して遊ぶことができるようになりました。

修了式では、小林 美佐子園長（当時）から一人ひとりに修了証とアルバムが手渡され、一年間で成長した子どもたちに保護者の皆さんも目を細めて拍手を送られていました。

式後は、幼児教育の現場で4月から活躍することが決まっている教育学科の幼児教育コースの8名の学生が子どもたちと手遊びをしました。最後に手作りのペープサートで「ともだちぐんぐん」を上演して保護者の皆さんにも楽しんでいただきました。

当日は2年生4名の学生も参加し会場の設営等に協力。手遊びや体操のサポートをして、実践的な幼児教育の技術を身につけるステップの場にもなっています。



手作りペープサートの「ともだちぐんぐん」上演後、挨拶をする学生

入園式

満開の桜の下、平成31年4月6日（土）に第47回入園式を執り行い、年少組31名、年中組5名、りす組8名（2歳児クラス）合計44名の園児が入園しました。

園児たちは式の出席者の多さに少し驚きながらも元気よく幼稚園の先生に誘導されて会場に入りました。木村 奈帆子園長の「皆さんがくるのをお兄さん、お姉さんたちと一緒に

待っていましたよ」という挨拶に目を輝かせていました。

担任の先生がにこやかに自己紹介をすると嬉しそうに見つめていました。

式の最後は、おそろいのユニフォームを着た教育学科 幼児教育コースの3・4年生7名の学生によるペープサートを使った歓迎の歌と手遊びで園児たちを楽しませました。



入園式で挨拶する木村奈帆子園長



手作りのペープサートで「おはながわらった」の手遊びをする学生



蝶々で飾った「おめでとう」の横幕を出して入園した園児を祝う学生

Information

学園からのお知らせ

表彰式 兵庫県功労者表彰について

令和元年5月29日(水)に行吉 誠之学園長が、兵庫県功労者(学術教育功労)として表彰されました。



受賞の報告をする行吉誠之学園長

表彰式 兵庫県健康づくり等にかかる知事表彰

令和元年5月25日(土)に「健康づくり等にかかる知事表彰」栄養の部において栄養士養成功労者として神戸女子大学 管理栄養士養成課程の田中 紀子教授と神戸女子短期大学 食物栄養学科の西川 貴子教授が表彰されました。田中教授と西川教授は永年にわたり管理栄養士、栄養士の養成に携り、教育者・指導者としての実績が認められたことによるものです。



受賞の報告をする田中紀子教授(左から2人目)と西川貴子教授

授与式

名誉教授称号授与式

令和元年6月25日(火)に神戸ポートピアホテル「菊水」の間において神戸女子大学並びに神戸女子短期大学の名誉教授称号授与式が執り行われました。式典では、栗原 伸公学長から先生方へ「名誉教授称号記」並びに「名誉教授証」が授与された後に、和やかに懇談会が行われました。

名誉教授称号授与式において記念撮影



神戸女子大学

小林 善文先生 東洋近現代史が専門。中国の近現代の教育思想と長江流域と黄河流域を結ぶ南水北調という大規模な自然改造のプロジェットの研究は高い評価を得る。平成15年4月から4年間、平成23年4月から4年間、計8年間教務部長。

岡本 陽子先生 「和装文化」「和装の服飾学」の教育・研究に従事。正倉院御物から近代の着物に及び染織の研究の中で銘仙着物の模様や光沢で成果をあげる。ゼミ生による「きものショー」は、日本繊維機械学会70周年記念行事等で公演、平成29年同学会「功労賞」受賞。平成24年4月から2年間家政学部家政学科主任。

富永 雅和先生 介護福祉士養成教育に従事。知的障害者の自立生活支援の事例研究で成果をあげる。平成16年4月から4年間文学部社会福祉学科主任。平成18年4月から2年間健康福祉学部健康福祉学科主任。

松崎 喜良先生 公的扶助の研究の第一人者。生活保護行政、貧困問題、生活困窮者支援についての研究で成果をあげる。平成19年4月から5年間教務部次長。平成24年4月から4年間健康福祉学部社会福祉学科主任。平成29年4月から2年間ポートアイランドキャンパス学生部長。

神戸女子短期大学

中川 伸子先生 「秘書ビジネス論」「観光ビジネス論」等の教育・研究に従事。キャリア教育における「働き方教育」に関する提案が目目される。図書館長、学生部長、総合生活学科学科長を歴任。平成29年4月から2年間神戸女子短期大学副学長。

遠 牧子先生 「食品衛生学」「応用微生物学」等の教育・研究に従事。「調理過程での大腸菌O157病原性抑制」の研究が高い評価を得る。第三者評価連絡調整責任者を経て、平成29年4月から2年間教務部長。平成17年全国栄養士養成施設協会「教員顕彰」受賞、平成29年兵庫県功労賞(教育功労)受賞。

田中 智子先生 「食品加工学」「応用食品学」等の教育・研究に従事。大豆加工食品中のミネラル成分の研究で高い評価を得る。平成23年4月から4年間食物栄養学科学科長。平成29年4月から2年間第三者評価連絡調整責任者。平成26年全国栄養士養成施設協会「教員顕彰」受賞。

結果報告

神戸女子大学 平成31年3月卒業生の国家試験の結果について

		受験者数	合格者数	合格率			受験者数	合格者数	合格率
第33回 管理栄養士国家試験	神戸女子大学	152	147	96.7%	第105回 保健師国家試験	神戸女子大学	20	19	95%
	全国合計	17,864	10,796	60.4%		全国合計	8,376	6,852	81.8%
第31回 社会福祉士国家試験	神戸女子大学	56	44	78.6%	第102回 助産師国家試験	神戸女子大学	3	3	100%
	全国合計	41,639	12,456	29.9%		全国合計	2,105	2,096	99.6%
第21回 精神保健福祉士国家試験	神戸女子大学	9	9	100%	第108回 看護師国家試験	神戸女子大学	78	76	97.4%
	全国合計	6,779	4,251	62.7%		全国合計	63,603	56,767	89.3%
第31回 介護福祉士国家試験	神戸女子大学	16	16	100%					
	全国合計	94,610	69,736	73.7%					

行事日程

- 7月
- 2 火 すいか祭り
 - 13 土 学園内編入学試験
 - 15 月 祝日授業日《海の日》
 - 20 土 オープンキャンパス
 - 25 木 【須磨キャンパス】前期授業終了
 - 26 金 【短大】前期定期試験期間開始

- 8月
- 1 木 【PIキャンパス・短大】前期授業終了
 - 3 土 オープンキャンパス(4日まで)
 - 9 金 【短大】前期定期試験・補講期間終了
【大学】補講期間終了
 - 11 日 《山の日》
 - 12 月 《振替休日》
 - 13 火 全学一斉休業(16日まで)
 - 17 土 オープンキャンパス
 - 23 金 【短大】前期定期試験結果、追・再試験発表

- 9月
- 2 月 【短大】前期追・再試験(5日まで)
 - 5 木 【大学】前期科目最終成績発表
 - 8 日 オープンキャンパス
 - 11 水 【短大】前期追・再試験成績発表
 - 16 月 《敬老の日》
 - 20 金 【大学・短大】後期授業開始
 - 23 月 祝日授業日《秋分の日》

- 10月
- 12 土 一般編入学試験
 - 14 月 祝日授業日《体育の日》
 - 22 火 祝日授業日《即位礼正殿の儀》

- 11月
- 2 土 推薦入試前期(A・B、自己推薦、ファミリー)
 - 3 日 指定校特別推薦入試、社会人特別入試《文化の日》
 - 4 月 祝日授業日《振替休日》
 - 8 金 学園祭準備(全日休講)
 - 9 土 学園祭(10日まで)
 - 11 月 祝日授業日《創立記念日》
 - 23 土 《勤労感謝の日》

- 12月
- 14 土 推薦入試後期
 - 20 金 【大学・短大】年内授業終了
 - 27 金 【須磨キャンパス】補講期間終了
 - 29 日 全学一斉休業(1月3日まで)

- 2020年
- 1月
- 1 水 《元日》
 - 6 月 後期授業再開
 - 13 月 《成人の日》
 - 17 金 阪神・淡路大震災 鎮魂の日
 - 18 土 大学入試センター試験(19日まで)
 - 20 月 【須磨キャンパス】後期授業終了
 - 21 火 一般入試前期(22日まで)
 - 23 木 【大学】校友会後期総会(全日休講)
 - 25 土 【短大】ブルーム展(30日まで)
 - 27 月 【短大】後期定期試験期間開始
 - 29 水 【短大】後期授業終了
 - 30 木 【PIキャンパス】後期授業終了

編集後記

令和になって初めての学園広報誌「神女広報 CROSSROADS vol.28」を無事に発行することができました。ご協力いただきました全ての皆様に感謝し御礼を申し上げます。

元号が変わりはや3ヶ月が過ぎようとしています。季節も春から夏へと移りました。西暦を使うことが多くなったとはいえ、新元号が発表されると気分が一新され、希望に満ちた時代が始まるのではないかと期待を持った方も多かったのではないのでしょうか。

新しい元号に合わせるかのように、今年度から本学園も理事長、学長が交替し、看護学部に大学院が開設され新たな一歩を踏み出しました。一方で学園が創設された当時から変わらずに守ってきた伝統や文化はこれからも大切に受け継がれていきます。特集記事の行吉理事長、栗原学長の共通の言葉は「一人ひとりの学生を大切にする」でした。

学生一人ひとりを尊重し、学生たちの持っている能力が充分に発揮され、お互い高めあって成長していくさまざまな姿を小誌はこれからもお伝えしてまいります。(M.O)

今号のバラ マサコ Eglantyne

ご存知のとおり、今年5月に元号が平成から令和に変わりました。今回ご紹介するバラ「マサコ」は、その名前から想像されるように、新たに即位された今上天皇陛下とご成婚された翌年に皇太子妃時代の皇后陛下雅子様には捧げられた品種です。

重なるピンクの花弁がとても愛らしいロゼット状の姿と甘い香りが魅力のこのバラは、英国の育種家デビッド・オースチンが作出したイングリッシュローズ(ER、S)です。須磨離宮公園には「マサコ」をはじめ、皇室の別荘であった前身武庫離宮にちなみ、日本の皇室や世界の王侯貴族、芸術家などの名前を冠したバラをコレクションしています。別名の「エグラントイン」は国際的な子どものチャリティー団体設立者の名前に由来し、イングリッシュローズの中で最も美しいバラの一つといわれています。

令和という新しい時代を迎えるみなさんの学生生活が、優しさで気品漂う「マサコ」のようなバラ色になることを願っています。

神戸市立須磨離宮公園 園長 安田 東平